

## 平成 29 年度 千曲坂城消防組合重点施策

平成 29 年 4 月 1 日  
消防長 柳町幸夫

### 1 消防行政の状況

近年の災害は、環境や社会構造の急速な変化に伴い複雑多様化、かつ大規模化する傾向にあり、特に火災や地震・台風・集中豪雨などの自然災害、救急需要に的確に対応することが求められています。

そのような中、昨年は、4月に発生した熊本地震では、観測史上初となる震度7の地震が2度発生し、熊本県を中心とした広範囲で建物の倒壊、土砂崩落等の災害が多数発生するなど多くの尊い人命と財産が失われる災害となりました。また、8月には、一連の台風による大雨被害が各地で発生し、特に台風10号の影響に伴う大雨により東北、北海道地方などの各地で河川が氾濫する災害が発生しております。

また、12月22日には、新潟県糸魚川市において144棟余の住宅が焼失する大規模な市街地火災が発生するなど、多くの人的被害や住家被害が発生しました。

当管内におきましては、大きな災害が見られなかったものの、千曲市では台風16号の影響に伴う大雨被害による災害警戒として地域住民に対し初めてとなる「避難準備情報」が発令されたことに伴い警戒体制を整えその対応を行ったところです。消防本部としても、今後発生し得る自然災害はもとより社会構造の変化に伴う複雑多様化、高度化するあらゆる災害等についても適切に対応できる体制を構築していくこととしております。

そこで、具体的な対策として、前年度には防災拠点としての消防庁舎整備として戸倉上山田消防署庁舎が整ったことに加えて資機材整備として消防隊員の防火服の更新事業を5ヶ年に掛けて整備が進められていること。また、本年度につきましては、大規模火災及び危険物火災等の災害対応として大型水槽車の新規整備、大雨災害等発生時の人命救助並びに救出用資機材として水難救助ボートの更新整備等を計画しているところであります。また、職員教養研修として、指導救急救命士の養成研修をはじめ消防大学校救助科への入校並びに各種受講研修を予定していることからハード、ソフト両面から消防力の充実強化を図るものであります。

しかしながら、地方財政運営は引き続き厳しい状況におかれている状況であります。このような情勢を踏まえ、消防組合としてもより災害に強いまちづくりを推進するためには、創意工夫と職員の自助努力を始めとする強い職責に期待しているところですので、より一層のご理解とご協力をお願いするものであります。

そこで、以下の事項を平成29年度千曲坂城消防組合重点施策と位置付け業務の達成を図っていくことといたします。

## 2 重点的に行う施策

### (1) 大規模、複合災害に対応する消防活動体制の充実強化

- ・ 災害実態に即応した迅速かつ的確に対応する消防活動能力の強化
- ・ 多様化した災害に対応した消防活動能力の強化
- ・ 安全管理を徹底した活動の推進強化

### (2) 高度、多様化する救急、救助業務における救急、救助活動体制の充実強化

- ・ 救急、救助活動体制の充実強化
- ・ 関係機関との連携を踏まえた救急、救助活動体制の充実強化
- ・ 救急車の適正利用の促進

### (3) 自然災害等に対応する警戒活動体制の充実強化

- ・ 市・町災害対策本部設営時の迅速対応能力の強化
- ・ 管内の危険箇所及び過去の災害発生検証に基づく実態把握並びに即応体制能力の強化

### (4) 火災予防対策並びに防火対象物等の防火安全対策の推進

- ・ 違反対象物の是正指導及び防火対象物の安全性の確保
- ・ 防火、防災管理体制の充実強化
- ・ 危険物施設における安全対策の推進
- ・ 社会福祉施設、宿泊施設等に対する防火安全対策の推進
- ・ 火災の原因究明能力、鑑識技術の向上
- ・ 要配慮者等の防火安全対策の推進

### (5) 地域等と連携した多岐にわたる防火防災対策の推進

- ・ 地域の防災力の向上にむけた総合防災教育の推進
- ・ 住宅火災における被害低減対策の推進
- ・ 実効性のある安心安全対策の推進
- ・ 応急手当等の普及推進
- ・ 効果的な広報活動の推進

### (6) 総合的な震災対策の推進

- ・ 地域、事業所等との連携強化による地域防災力の向上並びに震災対策
- ・ 首都直下地震、東海・東南海地震を含む南海トラフ地震等巨大地震の発生に備えた防災対策に係わる住民指導及び訓練強化

### (7) 地域住民から信頼される職員の育成及び活動基盤の整備

- ・ 職員育成の推進
- ・ 防災拠点としての庁舎施設の充実整備

## 3 取り組むべき主な課題

### (1) 組織力及び消防力低下の防止対策

- ・ 熟練職員の退職増に伴う消防力低下防止対策強化

- ・ 統括指揮隊の効果的な活動強化
  - ・ 災害対応時の情報収集能力の強化対策
  - ・ 消防の情報基盤の整備及び有効的な活用
  - ・ 高度化する救急救命士処置活動等の対策
- (2) 職員資質の研鑽及び職場環境の整備
- ・ 消防人の自覚及び目的意識の涵養並びに積極的な自己研鑽
  - ・ 健康管理(メンタルヘルス含む)と公務災害及び各種事故防止の徹底
  - ・ 服務管理の徹底及び人材育成に伴う評価の取り組み
  - ・ 消防職員委員会の適時開催と要望事項等の適正実施
  - ・ 人事評価制度の適正な運用に向けた取り組み
  - ・ 女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画の推進
  - ・ 地球環境に配慮した職場環境整備
  - ・ 情報管理に関するセキュリティ対策の徹底及び整備
- (3) 防災拠点としての消防庁舎の基盤整備に関する調査研究
- (4) 経費縮減の徹底を図るため、業務内容及び効果の精査と効率化の推進
- (5) 中長期計画に基づく消防車両等の更新整備に関わる消防力の充実強化
- (6) 将来的な消防広域化の実現を視野に消防体制の基盤強化等について調査研究
- (7) その他 地域住民の安全安心に係わる事項

#### 4 むすびに

我々は全体の奉仕者として、職務遂行にあたっては全力でこれに専念していくとともに、地域住民の生命、身体、財産を災害等から守るという崇高な使命と責任を十分自覚し、安全で安心して暮らせる街づくりの実現に向け、掲げた重点施策の達成を目途に精励していくようお願いするものであります。